

法人ニュース

くまがはら

2013. 5月号

法人会は「健全な経営・正しい納税・社会に貢献」をテーマに活動する経営者の団体です

めざします。「みんなの法人会」
公益社団法人栗原法人会

法人会広報

特集
まきこつぱら
くくりはら

「大空から栗原を眺める」



Photo:

- 企業リレー
- 活動レポート 平成25年1月～平成25年3月

特集 すくりはら

「大空から栗原を眺める」

栗原市瀬峰地区 瀬峰秋・夢まつり

栗原市には四季を通じてたくさんのお祭りやイベントがありますが、市民が知らないイベントや、名前は知っているけど見に行つたことがないイベントがあります。その中でも、10月中旬に開催され昨年6回目を迎えた飛行機やヘリコプターに乗って自分の街を眺められる飛行体験ができる東北では貴重な「せみね秋・夢まつり」イベントを掘り下げてみました。



空と陸の乗り物が飛行場に集合



朝日を浴びて滑走路に150名の自転車乗りが整列



飛行場の佐々木会長が栗原をPR

会場となるのが栗原市の南西部瀬峰の高台にある瀬峰飛行場（正式名称：瀬峰場外離着陸場）です。県内には、仙台空港のほか、主に自衛隊の基地がある東松島市の松島基地、仙台市の霞目飛行場、グライダー中心の角田市角田飛行場がありますが、瀬峰飛行場は40名の有志が2年の歳月をかけて1977年5月にオープンした私設飛行場で、離発着のみならず操縦のライセンスの取得もできます。

栗原に飛行場？そういう方も多いかもしれません。しかし、岩手宮城内陸地震や東日本大震災での救助活動、仙台空港が津波被害で使用できない際に自衛隊をはじめ、多くの報道機関や保険機関のベース基地として活用された事を報道で初めて知った方も多いのではないかと思います。2008年にはJPM Aパラモーター日本選手権の会場にもなりました。このイベントの特徴は大空を駆け巡る飛行機、ヘリコプターにチャリテイ飛行できること、搭乗時間は5分程度ですがそこは大空での5分、緊張の中滑走路を離陸すると目の前に広がる栗駒山から伊豆沼まで栗原のほとんども一望できる大空からのパノラマ、パイロットに「自分の家をさがしてみろ？」とうながされても、はじめて大空から見てもなかなか探せないそうです。興奮の飛行をあつという間に終え、最大

緊張着陸、自分の足で地面に立った時には大きな安心感と大空からの眺めに大満足、みんな笑顔になっているそうです。パイロットは全国から集まったボランティアの方で外国人の方もいらっしゃいます。皆さん自前の飛行機やヘリコプターで瀬峰飛行場に飛んできて、イベントが終わるとまた飛んで帰られます。北海道美唄市までなら約3時間程度でついでしようそうです。イベントでは体験飛行のほか、セスナのアクロバットデモ飛行やウルトラライトプレーン、パラグライダーの飛行、機体の展示など、飛行場のイベントならではのものがあり松島基地祭などのイベントとは違い、ふれて乗って感じるイベントです。

飛行以外のイベントも充実していて、開催当初は地元よさこいや演芸発表など、2009年は熱気球の搭乗体験などもありました。現在では旧車の展示、発動機グループによる実演、地元食材を使った屋台など、一日いても飽きない内容となっています。



第4回からは、栗原を自転車でサイクリングする「くりはらオートムライド」も開催し、毎回参加者が倍増し昨年は150名のサイクリストが瀬峰飛行場をスタートし一迫、花山河文字、荒砥沢ダム、栗駒、金

成、若柳、伊豆沼を回る100kmを4時間あまりで駆け抜けました。震災以前は県内でもサイクルイベントがありました。震災後は気軽に参加できるサイクルイベントとしては県内唯一のものとなり、参加の9割以上は岩手、山形など栗原以外からの参加で募集開始早々に定員に達する人気だそう。このサイクルイベントに触発された方が、イベントをはじめたり企画を進めている例もあるそうです。

印紙税改正にご注意を!

税
の
知
識
Vol.10

平成25年5月
国 税 庁

「不動産の譲渡に関する契約書」及び「建設工事の請負に関する契約書」の印紙税の軽減装置の延長と拡充

これらの契約書(1号の1文書、2号の内一定の要件に該当する文章)についての印紙税の軽減措置が平成30年3月31日まで延長され、更に(注)平成26年4月1日以降の作成分については対象契約金額が引下げられるとともに軽減額が拡大されます。

「領収書」等に係る印紙税の非課税範囲が拡大

「金銭又は有価証券の受取書」(17号文書)について、(注)平成26年4月1日以降作成されるものに係る印紙税の非課税範囲を3万円未満から5万円未満に引き上げられます。

詳しくは、▼

「国税庁ホームページ」→「パンフレット・手引き」→「印紙税関係」

東日本大震災による 被災自動車等の 自動車重量税について

被災自動車、被災二輪車等の還付申請書の提出期限は平成26年3月31日です。
平成26年4月30日までの買換車両に係る免税措置もあります。

詳しくは、▼

「国税庁ホームページ」→「東日本大震災関連の国税庁からのお知らせ」
→「震災特例法」→パンフレット一覧表「自重税01」「自重税02」

企業リレー

【毎月表紙を飾っていただくのは各企業の社員さんです。】

成
株
式
会
社
金
ラ
イ
シ
ー
宮
城

今回は、金成で米の精米卸業を営む株式会社ライシー宮城さんを訪問いたしました。

創業は、平成10年社長と奥様二人で始めました。専門農家をしていきましたが、米の価格が下がり収入も当然減って行きました。そこで米を作ってる人、買ってくれる人が喜ばれる仕事をするにはどうすればいいか。その思いから設立創業になりました。

現在は、年間精米量も8万俵と増え販売先も大手スーパーから個人までと幅の広い販売ルートを持っています。自分から営業はせず、すべて口コミのことでした。

今後の目標を伺ったところ「生産者にも食べてもらう人にも喜んでいただける様にしていきたい」と抱負を語って頂きました。

【表紙写真】

精米機の前にて(工場内)

◆次号登場企業紹介

次回は、栗駒の「株式会社ハガ」さんです。

栗原法人会の活動レポート
平成25年1月から平成25年3月

1/28 Mon
《労務管理セミナー》
就業規則の整備・高齢者雇用に係る助成金セミナー
(栗原市築館「ホテルグランドプラザ浦島」)
講師：社会保険労務士 森 晋介 氏
参加者：21名



1/28 Mon
《社会貢献事業》
税に関する絵はがきコンクール
(栗原市築館「ホテルグランドプラザ浦島」)
来場者：投票数 353票



2/15 Fri
《青年部会》
研 修 会
(栗原市若柳「はさま会館」)
講師：サンキッズシステム(株) 代表取締役 高橋 英明 氏
演 題：「中小企業がソーシャルネットワークを活用する方法」
参加者：18名



2/25 Mon
《女性部会》
県女連研修会
(栗原市志波姫「エポカ 21」)
講師：東日本大震災復興支援プロジェクト 「め組」 JAPAN 橋之口みゆき 氏
演 題：「被災地の現状とこれから」
参加者：53名



1/28 Mon
《事業》
新春講演会並びに賀詞交歓会
(栗原市築館「ホテルグランドプラザ浦島」)
講師：立命館大学教授 藪中 三十二 氏
演 題：「新年 日本が直面する外交課題」
参加者：講演会215名 (うち一般42名)
賀詞交歓会155名 (うち一般22名)



2/4 Mon
《女性部会》
新春懇談会
(栗原市築館「御馳走ダイニング 満てん」)
講師：一迫紙芝居一座 座長 高橋 千賀子 氏
演 題：「栗駒山をめざした侍！」
参加者：26名



2/22 Fri
《労務管理セミナー》
改正高齢者雇用安定法実務対応講座
(栗原市志波姫「エポカ 21」)
講師：さとう労務管理事務所 佐藤 崇 氏
参加者：18名



3/19 Tue
《交流会》
二戸法人会浄法寺支部と栗原法人会の視察研修交流会
(栗原市志波姫「エポカ 21」)
参加者：20名



二戸本部と4つの支部からなる二戸法人会は加入率80%、533社の会員からなる全国でも上位の法人会。その中の浄法寺支部さん11名が当会を訪問して下さいました。
佐々木支部長のお話から特に加入率に関して、各支部が根底を支えているという事を感じました。また、e-tax導入率100%を達成している事も伺い税知識の普及と納税意識の高さに敬意を表しました。

発行：公益社団法人 栗原法人会
〒987-2216 宮城県栗原市築館伊豆三丁目1番20号
TEL 0228 (22) 2775 FAX (22) 2774
E-mail: office@kur-ho.com
URL: http://www.kur-ho.com